



図書室だより

2026.2

秩父市立荒川中学校図書室

2月に入り、少しずつ少しずつ春めいてきたでしょうか。

今年度も残りわずかになりましたね。

本はたくさん読めましたか？

謎解きあり・笑いあり・胸キュンあり・驚きあり・恐怖あり・共感あり・
どんでん返しあり・感動あり……。

たっぷり心の栄養を蓄えて、今後も充実した毎日を送ってってください。



<今年度 最終貸出のお知らせ>

3年生……………最終貸出 2/27 (金)
返却 3/ 6 (金)

1・2年生……最終貸出 3/6 (金)
返却週間 3/16(月)~3/19(木)

*図書室前「返却 BOX」もご利用ください。
春休み用の本の貸出は行いません。

新しく“積み木”が入ります！

どんな積み木かは来てのお楽しみ♪
気分転換に、そして集中力アップに
図書室へ足を運んでみませんか？

<2026本屋大賞/ミネート作品 発表！>

今年もこの時期がやってきました。

本屋大賞ノミネート作品の発表です。

『本屋大賞』とは、全国の書店員さんの投票によって決まる「賞」。

書店員さんが比較的新しい本の中から「おもしろい！」「みんなにも読んでほしい！」

「うちの店でも売りたい！」という本をまず 10 作品に絞ります。

これが今回発表となった「本屋大賞ノミネート作品」です。

今後この 10 作品の中からさらに投票が行われ、4月に「本屋大賞」が決定します。

ここ最近の本屋大賞は下記のとおりです。

- 2025 年 『カフネ』阿部暁子（著）
- 2024 年 『成瀬は天下を取りにいく』宮島未奈（著）
- 2023 年 『汝、星のごとく』凧良ゆう（著）
- 2022 年 『同志少女よ、敵を撃て』逢坂冬馬（著）
- 2021 年 『52 ヘルツのクジラたち』瀬尾まいこ（著）



<2026 本屋大賞/ミネート作品紹介>

*各出版社本紹介より抜粋

荒川中図書室でも現在準備中！
全国の本屋さんがオススメする 10 作品。
どれを読んでもおもしろいこと間違いなし！！
準備ができたものから貸出しますので
読んで大賞を予想してみましょう！



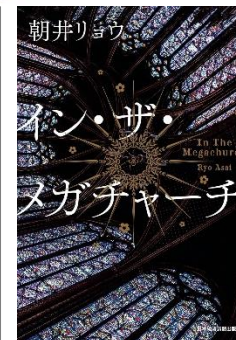
『暁星』湊かなえ・著

文部科学大臣刺殺事件の犯人による手記が語る真実。そして現場に居合わせた作家が書いた小説。ノンフィクションとフィクション、ふたつの物語が合わさったとき見える景色とは!?



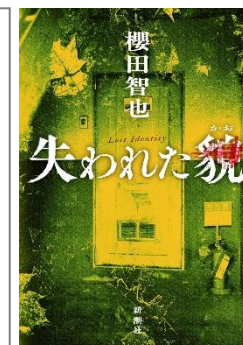
『あやか』瀬尾まいこ・著

「愛はここにある。幸せはここにいる。」
母親との関係に悩みながらも、一人娘を慈しみ育てる、シングルマザー。
あなたの小さな、でも確かな支えとなる物語。



『イン・ザ・メガチャーチ』朝井リョウ・著

「推し活」を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側……。世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す。



『失われた貌』櫻田智也・著

山奥で発見された変死体。捜査と謎解きのハイブリッド。無関係に見えた出来事が絡み合い、現在と過去を飲み込んで、事件は思いがけない方向へ膨らみ始める。



『エピクロスの処方箋』夏川草介・著

「医療では、人は救えないんだよ」
思想する医師・雄町哲郎は今日も京都の街をゆく。
現役医師が描く、人の命と幸福について。



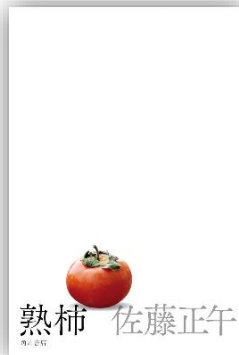
『殺し屋の営業術』野宮有・著

トップセールスマンが殺し屋の営業マンに！
前代未聞の、「命がけの営業」が始まるー。
常識を覆す発想から走り出す、ジェットコースター・ミステリー！



『さよならジャバウォック』伊坂幸太郎・著

「夫は死んだ、死んでいる。私が殺したのだ。」
そこに訪ねてきた意外な人物。一体彼は何を知っているのか？
小さな違和感や散りばめられた謎——。
まさかまさかの



『熟柿』佐藤正午・著

ひき逃げ事件を起こしてしまい、平凡な人生を奪い去った主人公。
罪と向き合いながら必死に生きようとする人間の弱さ、そして強さ、そして熟柿とは……。



『探偵小石は恋しない』森バジル・著

小石探偵事務所の代表でミステリオタクの小石。
小石が意外な真相を目の当たりにする裏で、思いもよらない事件が進行して——。



『PRIZE—プライズ—』村山由佳・著

「どうしても、直木賞が欲しい」
直木賞の内幕、賞に懸けるある作家の情熱、編集社の欲望……。秘密の裏側お見せします。
業界震撼、禁断の“作家”小説！

さあ、どれから読む？